

製品名: CPS1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87009**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:165 kDa; Observed MW:160 kDa

抗原情報

遺伝子名	CPS1
別名	PHN; CPSASE1
遺伝子 ID	1373
SwissProt ID	P31327
免疫原	ヒト CPS1 の合成ペプチド

背景

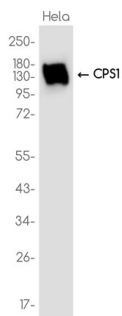
この遺伝子によってコードされるミトコンドリア酵素は、アンモニアと重炭酸塩からカルバモイルリン酸を合成する反応を触媒しま

す。この反応は尿素回路の第一段階であり、細胞から過剰な尿素を除去する上で重要です。コードされているタンパク質は、ミトコンドリア核様体の中核タンパク質である可能性もあります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つっています。最も短いアイソフォームはミトコンドリアに局在しない可能性があります。この遺伝子の変異は、カルバモイルリン酸合成酵素欠損症、持続性肺高血圧症の感受性、および骨髄移植後の静脈閉塞性疾患の感受性と関連付けられています。
[RefSeq 提供、2010 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



CPS1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。